

知多半島が生んだ日本初の
医療ソーシャルワーカーであり、
日本の社会福祉の礎を築いた女性の物語。



日本福祉大学 学園創立 70 周年記念ラジオドラマ

さいしよの一步

～ 浅賀ふさ物語 ～

知多半島が生んだ日本初の医療ソーシャルワーカー

1894年、愛知県半田町に生を受けた浅賀ふさは、25歳で兄とともに渡米。
アメリカでふさが出会ったのは、当時発展しつつあった
「医療ソーシャルワーカー」という仕事でした。
ひとりの女性の社会活動への情熱と功績をラジオドラマとして再現。

CBCラジオ放送スケジュール

第1話	浅賀ふさ	アメリカ物語	12/1 (金)	21:10～21:40
第2話	浅賀ふさ	孤軍奮闘物語	12/8 (金)	21:10～21:40
第3話	浅賀ふさ	子ども支援物語	12/15 (金)	21:10～21:40
第4話	浅賀ふさ	名古屋で教育者に	12/22 (金)	21:00～21:40 (拡大版)



声優：
竹下 景子
浅賀ふさ先生
成人期

撮影：篠山紀信



声優：
戸松 遥
浅賀ふさ先生
少女期



声優：
近藤 芳正
鈴木修学先生

脚本：鹿目 由紀 企画・制作：CBCラジオ 特別協力：日本福祉大学

2023年12月、CBCラジオで4週連続放送



radikoでも聴けます♪
<https://radiko.jp/index/CBC/>



「さいしよの一步 ～浅賀ふさ物語」
特設サイトはこちら



Story

第1話 浅賀ふさ アメリカ物語

少女時代はおてんばで理屈屋で不公平なことが大嫌いだったふさ。

日本女子大学を卒業したふさはある日、兄の常太郎が三井物産の飛行士に雇われ渡米することを知り、ふさの人生は転機を迎えます。

父親を懸命に説得し兄と一緒に渡米したふさは、住み込みでメイドの仕事をしながら自分の進むべき道を模索していきます。

第2話 浅賀ふさ 孤軍奮闘物語

当時のアメリカで始まったばかりの「医療ソーシャルワーカー」と出会ったふさは、その道を志し、アメリカの大学で勉学に励み、さらに、幼児教育についても学びます。渡米して10年たったふさは帰国を決心し、聖路加病院のトイスラー院長に手紙を書き、自分をソーシャルワーカーとして使って欲しいと直談判をします。

やがてふさは日本に戻り、1929年、日本初の医療ソーシャルワーカーとして活動を始めます。しかし、ソーシャルワーカーへの理解がほとんど無かった日本では、ふさは様々な苦勞を味わうことになったのです。

第3話 浅賀ふさ 子ども支援物語

ふさは、子どもの支援に力を入れるようになり、人形劇などを通して子どもたちに病気の予防の大切さなどを伝えていました。そうやって多くの子どもや母親と関わっていくようになると、日本の母子にまつわる深刻かつ残酷な問題を目の当たりにすることになります。

当時の日本では婦人参政権が認められておらず、ふさは日本における「母子保護」の確立を志し、市川房江さんらと共に婦人の権利獲得のための活動を始めるのです。

第4話 浅賀ふさ 名古屋で教育者に

終戦後、ふさは地方における社会福祉の担い手を育てていくことの重要性を感じ、1953年、日本福祉大学の前身、中部社会事業短期大学で教育者として働くことを決意。

その後80歳まで教壇に立ち後進の指導にあたりとともに、生活保護受給金額の見直しや老人医療無料化の実現など、多くの人を支援し続けました。

ふさはその半生で「知らねばならぬ、あらねばならぬ、なさねばならぬ」という信念を持ち社会活動や後進の育成に取り組みましたが、その精神は、70年経った今も日本福祉大学に脈々と息づいています。

2023年12月、CBCラジオで4週連続放送



radikoでも聴けます♪
<https://radiko.jp/index/CBC/>



「さいしょの一步 ~浅賀ふさ物語」
特設サイトはこちら

